2026年11月10日

各　位

会社名　　住友金属鉱山株式会社
代表者名　代表取締役社長　　松本　伸弘
（コード番号　5713　東証プライム）
問合せ先　広報ＩＲ部ＩＲグループ長 井上敦行
（ＴＥＬ．03-3436-7705）

減損損失の計上に関するお知らせ

当社の連結子会社は、2027年３月期中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）において、下記のとおり減損損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．減損損失の計上

当社の製錬セグメントに帰属するニッケル製錬子会社であるコーラルベイニッケル社（Coral Bay Nickel Corporation、 フィリピン）において、現時点での事業計画に基づき、資産除去債務の見積りの変更に伴う有形固定資産の帳簿価額の増加額を評価した結果等により、42,553百万円の減損損失を売上原価に計上することになりました。

同社は、現地の鉱業法令等に基づく原状回復その他の義務について、その履行に要する費用を事業計画に基づき合理的に見積り、資産除去債務に係る負債を計上しております。次期中期経営計画（中期経営計画2030）の対象期間中（2028年度から2030年度）にも生産終了を見込んでおり、当中間連結会計期間において、生産終了後の設備解体撤去等を含む原状回復義務の履行に係る対応方針を見直したことから、資産除去債務の計上額を見直しました。

この見直し等に伴い、資産除去債務に対応する有形固定資産の帳簿価額が増加しましたが、ニッケル・コバルト価格の低迷、生産コストの上昇、鉱石品質の低下を踏まえて、経済性を総合的に評価して回収可能価額を算定した結果、固定資産の帳簿価額41,984百万円を回収可能価額まで減額しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しております。

２．業績への影響

上記の減損損失につきましては、本日公表しました「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）」に反映しております。

以上